

手作りマスクの作り方

新型コロナウイルスは、飛沫感染や接触感染によりうつると言われています。

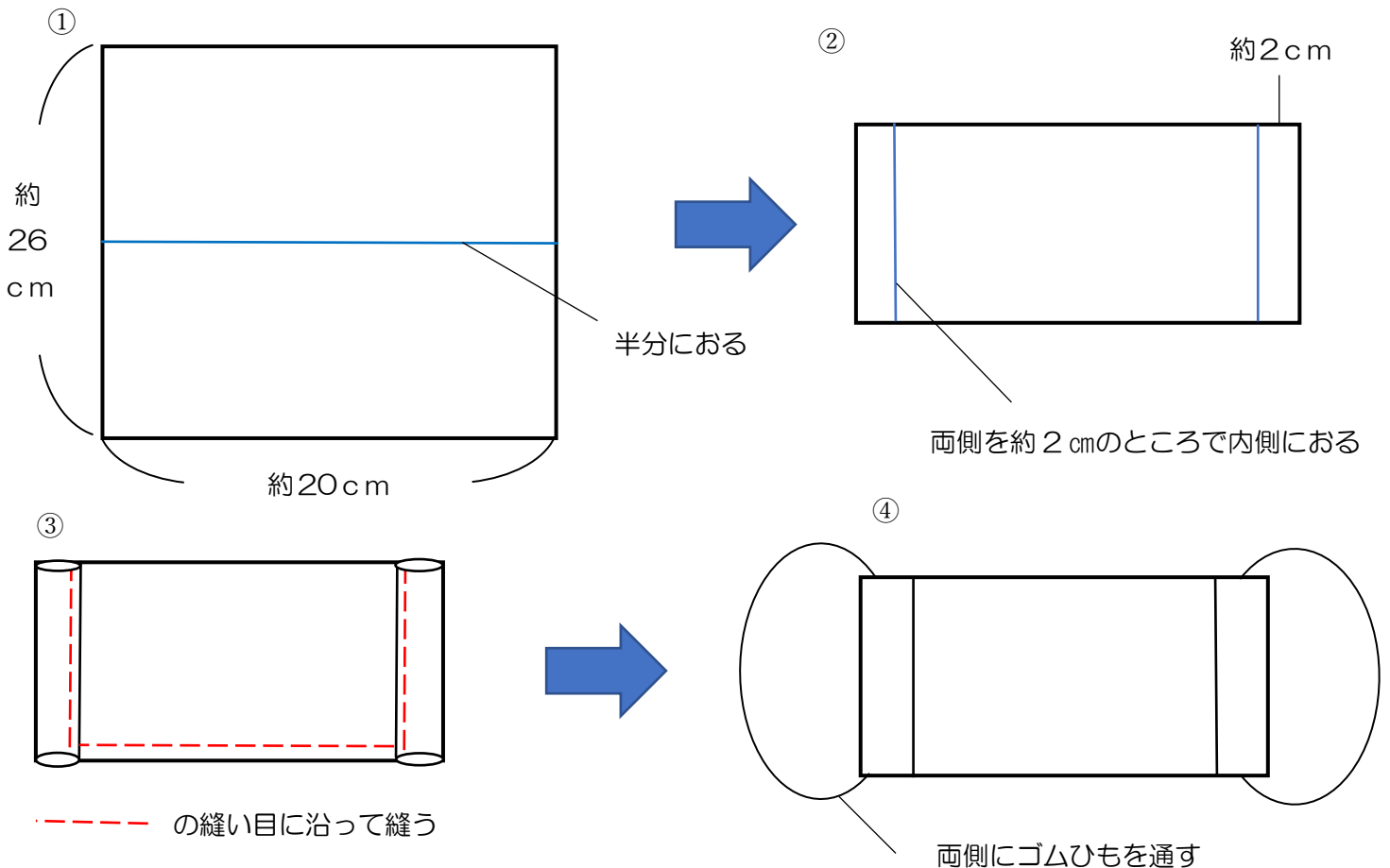
口元をガーゼマスクやタオル等で覆うことにより飛沫（くしゃみなどの飛び散り）を防ぐ、一定の効果が見込まれます。簡易的なマスクの作り方をご紹介しますので、参考にしてください。

※使用したマスクは一般的な家庭用洗濯剤で洗濯し、完全に乾かしてから再利用してください。

咳、発熱等の症状がある方が使用した場合、市販の台所用漂白剤（商品目：ハイター、ブリーチ等）を薄めた消毒液（水 500ml に対し、ペットボトルのキャップ 1 杯分程度）に約 30～60 分つけ置き洗いしてください。

○用意するもの

- ・ガーゼ等の布（約 26 cm×約 20 cm）
- ・ミシンまたは裁縫道具
- ・ゴムひも（約 26 cm×2 本）
- ・ゴム通し
- ・アイロン



- ① 半分におり、アイロンをかける。
 - ② 両側を約 2 cm のところで内側におり、アイロンをかける。
 - ③ 上の図の縫い目に沿って縫う。
 - ④ 両側にゴムひもを通し結ぶ。（結び目はマスクの中に入れて）
- ※サイズはあくまで目安です。適宜調整しながら作成してください。
また、ガーゼ等の布が薄い時には 2 重にするなどの方法もあります。

